3月31日、中田副市長、宮澤副市長が退任し、4月1日より小口副市長が就任します

このたび3月31日をもちまして、副市長を退任いたしました。

平成21年に副市長として選任をいただき、今井市長のもとで市民福祉の向上と市政発展のため、全力で取り組んでまいりました。

地方自治体を取り巻く社会経済状況が大きく変化する中で、市の最重要課題でありました、新病院建設事業や湖周地区ごみ処理施設整備事業などの多くの事業に携わり、また、これら事業もほぼ完成する見込みとなり、大いに喜びを感じております。

在職期間中、市民の皆さまはじめ、多くの皆さまからの温かいご指導、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

副市長の職を離れましても、微力ではありますが、本市の発展のために何らかの形で関わってまいりたいと考えております。

結びに、市民の皆さまに深甚なる感謝を申し上げるとともに、本市の益々の発展と市民の皆さまのご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。

長い間、お世話になり、本当にありがとうございました。

中田 富雄

このたび、3月31日をもちまして、7年9か月にわたる、産業振興担当副市長の職を退任いたしました。

平成20年7月の就任以来、今井市長のもと、重点施策である「たくましい産業の創造」を推進するため、市内企業の活性化、企業誘致、空き工場の活用、創業支援、景気対策を重要課題とし取り組んでまいりました。

この間、リーマンショックによる世界的な大不況や東日本大震災による産業構造の変化、また、急激な円高は市内企業にも大きな影響をもたらしたことから、新技術・新製品の開発支援等を通じ、新たな仕事の確保に向けた積極的な取り組みや、市内企業の流失防止を目指したことが思い出されます。

今後も、地域経済の持続的な発展や地方創生に向け、引き続き産業振興の取り組みが図られることを願っております。

在任中は、市民の皆さまをはじめとして、産業界、金融機関など多くの皆さまから、温かいご指導、ご支援、ご協力を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。

結びに、今後の岡谷市の更なる発展と市民の皆さまのご健勝、ご多幸を心から願い、退任のあいさつとさせていただきます。

長い間、本当にありがとうございました。

宮澤　昇

中田前副市長の退任に伴い、4月1日より副市長に就任いたしました。

市制施行80年を迎えた岡谷市は、今、人口減少と地域経済の縮小という、地方が抱える構造的な課題の克服に向け、積極的に施策を展開しており、岡谷市の創生を加速していく、大切な時期を迎えております。また、新時代を切り拓くための行財政改革の推進も、求められております。

このような重要な時期に、副市長を拝命し、身に余る光栄と感じますとともに、その重責に身が引き締まる思いであります。

もとより浅学非才の身でありますが、これまでの行政経験を活かし、モットーとしてまいりました「明るく、元気に、前向きに」の精神を忘れずに、さまざまな課題に果敢に挑戦してまいります。

微力ではございますが、今井市長を補佐し、「みんなが元気に輝く　たくましいまち岡谷」の実現に向け、誠心誠意、職務に精励してまいります。

市民の皆さまが岡谷市にお寄せいただく期待や願いに応えることができるよう、職員とともに努力を重ねてまいりますので、これまで以上のご指導、ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

副市長　**小口 明則**

「市政懇談会」が開催されました

今年の市政懇談会は、2月5日から16日の間に、市内5会場で開催しました。新年度の重点施策を中心に、市の事業を説明し、市民のみなさんからのご意見や要望を広くお聴きしました。いただきました貴重なご意見などは、今後の市政運営の参考にさせていただきます。

活の泉 マンスリートピックス
「まちの活力」「ひとの活力」
今月の快活生活通信

市民のみなさんとの対話から…

Q 行財政改革のスタート年として歳入確保の施策もあると思うが、人口減少対策は影響も大きいところではないか。湊地区も人口減少は同様の傾向にあるが、空き家の利活用により市外からの定住につながらないか検討してほしい。

A 空き家は全国的に増えており、管理・再活用は大きな課題と捉えている。市でも空き家情報バンクを立ち上げ、宅建協会の協力のもとで空き家の活用を図りたいと思っているが、空き家の状況などさまざまな理由により、登録まで至らないケースも多いのが現状。少し手を加えると住居などに活用できる空き家は多く、大切な資源なので、色々な情報をいただくなかで今後も粘り強くPRしていく。

Q 市内で防犯灯のLED化が進んでいるが、電気料金の契約の見直しなどしているか。

A 防犯灯のLED化は、エネルギー効率と耐久性に優れ、省エネと維持管理経費の削減に効果がある。従来の蛍光灯と比べると、ワット数を60ワットから20ワットへ変更しても、従来の明るさを維持できる。市内の防犯灯は、LEDへ交換できたものから定額契約の仕様内容を変更し、低額なものへ切り替えている。市でも、LED化への補助金、防犯灯の台帳整備も含め、より効果的、効率的な運用ができるよう、各区の協力もいただきながら防犯灯のLED化を推進していく。

Q 市内のごみ処分量が減少傾向にあったが、最近増えてきている。理由はどのようなものか。

A 岡谷市のごみ量については、市民のみなさんのご理解とご協力のもと、有料化、その他プラスチック類等の分別を積極的に展開できていることから、ごみ減量にもつながっている。有料化の1年後にごみ量がリバウンドという形で微増したことはあったが、その後は減少が進んできており、当初に比べ減少率は小さくなっているが着実に変化している。また、各地区の衛生自治会のみなさんの活動や、各家庭でも分別にご協力いただき感謝している。

Q 介護保険の負担金について、高齢化率が年々上昇しており、介護保険を利用する人も増えてきている。国、県、市町村でまかなっている負担金額の推移と今後の動向、介護予防について聞きたい。

A 介護の給付金は年々増加しており、介護保険特別会計は毎年10億円程増えている現状で、平成28年度は諏訪広域全体で170億円を上回る金額を予算計上している。介護保険は3年に1度、事業、保険料を見直しているが、個人負担額が徐々に大きくなっているので、高齢になっても元気で過ごせるよう、さまざまな施策を展開していくことも必要。地域全体で支え合い、介護保険に頼らない地域づくりを推進することに力を入れていかなければいけないと思っている。

問合せ●秘書広報課（内線1366）

行政のページ

広告
信濃毎日新聞
■ 信毎Web http://www.shinmai.co.jp/
御柱祭も信毎で！
天下の大祭、生き生きと伝えます
迫力の写真きれいに　豊富なカラー面と高度な印刷技術で

購読のお申し込みは フリーダイヤル 0120-81-4341（はやい よみよい） 又は 最寄りの信毎販売店へ

4月1日から市の組織が変わります

問合せ●企画課(内線1526)

市では、迅速かつ効率的な行政運営を行うため、4月1日付けで組織改正を実施します。主な改正点は、職制の見直し・組織のスリム化・喫緊の行政課題へ対応するための、公共施設総合管理室・冬季国体推進室の新設となっています。

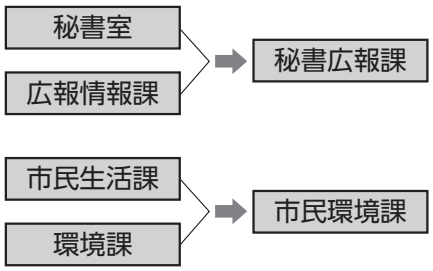
【職制の見直し】

これまでは、課の個々の業務を担当する職名を「主幹」として、意思決定等の迅速化を図るなど効率的な事務執行に努めてきました。

今後を見据えた人材育成に取り組むため、職務責任の明確化や組織マネジメントの向上を図るとともに、チェック機能を強化するため、「統括主幹(課長を補佐する職)」を配置し課内の事務調整を図り、一層活力のある組織をめざします。

【組織のスリム化】

●課の統合



- 「秘書室」と「広報情報課」を「秘書広報課」に統合します。
- 「市民生活課」と「環境課」を「市民環境課」に統合します。なお、旧環境課「資源化」、「環境保全」担当を1階に移設します。

【行政課題への対応】

●「公共施設総合管理室」を新設 【庁舎5階】

人口減少社会に対応した公共施設などの管理に関する基本的な方針を示す公共施設等総合管理計画(現在策定中)を円滑に推進するため、企画政策部内に臨時の組織として公共施設総合管理室を設置します。

●「冬季国体推進室」を新設 【岡谷市民総合体育館】

平成29年1月の第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会の開催に向け、受け入れ態勢や会場・競技運営を円滑に行うため、教育委員会内に冬季国体推進室を設置します。

行政のページ

男女共同参画「出張フォーラム」実施団体募集! ～あなたの団体・グループに講師を派遣します～

男女がともに人権を尊重し、認め合いながら、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画のまちづくりをすすめるため、地域、グループ、学校、企業など、みなさんの集まりに講師を派遣します。講師の謝礼は市で負担しますので、お気軽にご利用ください。

対象…市内在住、在勤者を含むおおむね20名以上の団体、グループ(営利目的、政治宗教活動の集会は対象外)

定員…おおむね7団体

開催時間…1～2時間程度(土・日・祝日、夜間でも可)

内容…市が指定会場へ講師を派遣します。会場確保は主催者側で行ってください。講師謝礼は上限2万円まで市が負担します。具体的なテーマが決まっていなくても応募できます。(講師やテーマは主催者のみなさんと相談して決めます)

〈テーマ例〉「みんなで助け合って子育て・介護」「発展途上国から学ぶ共同参画」「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を進めよう」「企業におけるセクハラ防止」「地域づくりは男女共同参画で」など

応募期限…4月20日(水)

※詳細はホームページで確認、またはお問い合わせください。

問合せ・申込み●企画課(内線1528)

新和田トンネル有料道路の時間帯割引回数通行券の販売を開始します

通勤、通学、通院などで新和田トンネル有料道路を日常的に利用する市民のみなさんに、通常の5割引となる割引券を10枚単位で販売します。

割引券利用時間…午前6時～10時と午後4時～9時
※上記以外の時間帯は使えません。

価格…普通自動車用(10枚) 3,100円
軽自動車用(10枚) 2,550円
※1回の購入の上限は1人100枚

販売場所…市役所売店(庁舎地下1階)

販売日・時間…平日の午前8時30分～午後5時15分

販売開始…4月1日(金)～

購入方法…市ホームページまたは売店窓口にある購入申込書へ記入・押印し、売店窓口へ提出してください。その際、本人確認のため、氏名・住所のわかる運転免許証などの公的証明書類を持参ください。

※代理人が購入する場合は、代理人の印鑑と本人確認書類も必要となります。

※詳しくはお問い合わせください。

問合せ●都市計画課(内線1333)